

近ごろ思うこと

小金原八丁目町会長

たかくら るくえい
高倉 録英

私が、縦割社会の企業から身を引いてから12年余の年月が流れてしまった。老後は自由にのんびり過ごす計画を持っていたが、世間様は許してくれなかった。数年間町会の仕事を手伝ってほしいと依頼され、気軽に受けたのがいけなかった。“後期高齢者”と情けない呼名の今日になっても、現役並みに忙しい毎日を送っている。

この10年間、21世紀になり社会の変動は速度を上げている。コンピューター・インターネットの時代といわれている。能力が落ち、視力が低下した老人についていける筈がない。一方若い世代は、利便性のみを追求してその虜になってしまった様に感ずる。

話はかわるが、国内外の世相の乱れは、どう解釈し理解したらよいのだろうか。問題が多岐に渡り私など凡人には、その糸口にも辿り着け無いが、根の深い事だけは分かる。

人類は、長い歴史をかけて今日の繁栄に到達した。飽く事なく利便性だけを求めた結果、科学万能を信じ拝金主義に陥り、人情を忘れてしまったのではないだろうか。「他人様はともかく、自分さえ良ければ」という考え方が子供たちまで巻き込んでいる気がする。

大きな地球規模の問題の解決は、これから出現する偉大なる指導者(思想家・科学者・政治家・経済学者・宗教家…)を待つとしよう。我々端末に出来るのは、再び温かい心を取りもどすこと位である。その為には、世代間を超えた交流でコミュニケーションを深めていかなければならないと思う。